

災害対策推進・教育センター

かわら版



VOL.44 2026年5月号



Topics 新人職員および病院教職員の消火訓練を行いました

4月2日（木）に新人職員研修の一環として、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士などの新人職員約130名を対象に消火訓練を行いました。訓練では、最新の「災害対策マニュアルVer.6.0」についての講義を受け、その後、水消火器と消火栓を使用した初期消火訓練が行われました。（津市北消防署およびエネルギーセンター（日本空調サービス）ご協力のもと実施）

初期消火訓練では、消防職員からの「安全ピンを抜く」「ホースを向ける」「火元を狙う」の基本動作の指導のもと、コーンをめがけて消火活動を行いました。また消火栓からの放水訓練では、初めて扱う水圧に戸惑いながらも、壁に向けての放水を体験しました。訓練を通じて消火器、消火栓の操作方法を学ぶとともに、消防職員の方との質疑応答を通じて、火災に対する理解も深まり大変有意義な訓練となりました。

また、新人職員研修終了後には、病院教職員への消火訓練も併せて実施し、5名の方に水消火器と消火栓を体験していただきました。

消火訓練の様子



新人職員

講義



消防職員からの説明



初期消火訓練(水消火器)



初期消火訓練(消火栓)



病院教職員（任意参加）



参加者の感想



看護師

消火訓練を通じ、消火器具の扱いや水圧のすさまじさを実感し、有事の備えの重要性を学びました。この貴重な経験で得た「落ち着いて行動する意識」を大切に、患者様の安全を守れるように精進していきたいです。



臨床工学技士

消火訓練を受けることで南海トラフ地震のような大きい災害が起きた際でも訓練を思い出し少しでも慌てずに行動したいです。

次回消火訓練のお知らせ

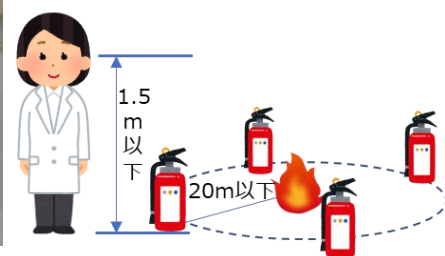
今回は、12月15日(火)に、病棟火災避難訓練（自衛消防組織総合訓練）を実施します。あわせて、訓練参加者および希望者を対象に消火訓練も予定しています。火災時は初動対応が重要です。この機会にぜひご参加ください。



知っていましたか？ 消火器の設置場所

消火器の設置位置は「歩行距離20m以下（大型は30m以下）」「床面から高さ1.5m以下」「避難の邪魔にならず、見えやすい場所」と定められています。（消防法施行規則第6条）

当院では写真のように消火器が設置されています。通路などに置かれている場合は、勝手に移動したり持ち出したりしないようにお願いします。また、この機会に院内の消火器の設置場所を再度ご確認ください。



Face



災害対策推進・教育センター
清水 欣也です



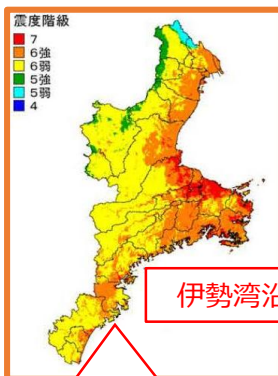
4月より事務補佐員として当センターにて勤務しております。今回の消防訓練に参加させていただき、消火器、消火栓を使用した訓練を通じ貴重な体験ができ、大変参考になりました。

Topics 県の南海トラフ被害想定が公開されました

3月30日（月）、平成26年に発表されて以来12年ぶりに三重県南海トラフ被害想定が全面的に見直されました。その中から、理論上最大クラスの地震が発生した場合の被害想定と、過去最大クラスの地震が発生した場合の被害想定を一部ご紹介いたします。

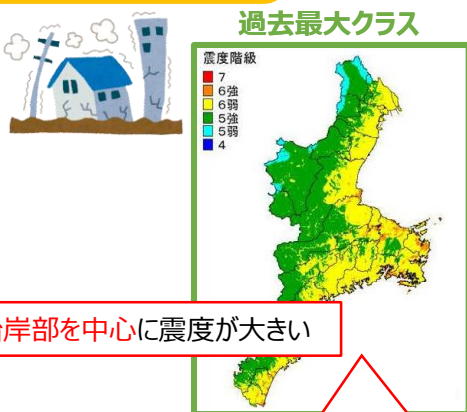
地震動（揺れの強さを予測）

理論上最大クラス



伊勢湾沿岸部を中心に震度が大きい

過去最大クラス



約半分の地域で震度6弱以上の大きい揺れを予測

ほぼ全域で震度6弱以上の大きい揺れを予測

知っていましたか？ 南海トラフ地震

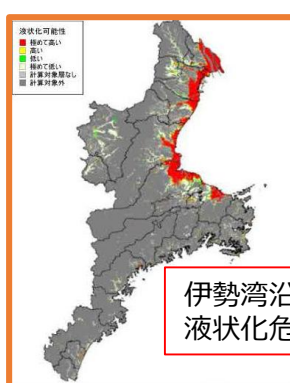
理論上最大と過去最大の違い

理論上最大クラス：あらゆる可能性を科学的見地から考慮し、発生する確率は極めて低いものの、理論上は起こり得る最大クラスの南海トラフ地震

過去最大クラス：過去概ね100年から150年間で、地域に莫大な被害をもたらしてきた、記録から実証されている発生頻度の高い南海トラフ地震

液状化（揺れにより液状化する可能性を予測）

理論上最大クラス



伊勢湾沿岸部や河川に近い地域は液状化危険度が高い

過去最大クラス



県のHPに公開されています！見てくださいね。



Center Message

昨年3月に内閣府が公表した南海トラフ地震の被害想定と比べ、今回の三重県独自の想定は、地形や地盤、堤防の耐久性などのデータをもとに、より細かく精度の高い内容となっています。そのため数値に違いはありますが、津波による死者が全体の8割以上を占めることや、地震直後の避難によって被害が大きく減少する点など、全体的な傾向は変わっていません。県のホームページでは、市町別の被害想定も公表されていますので、ご自宅や日頃長く過ごす場所について、一度確認しておくようお願いいたします。また、負傷者のうち30～50%は、家具の転倒・落下・移動が原因とされています。速やかな避難行動につなげるためにも、家具の固定や配置の見直しなど、日頃からの備えについてもあわせてご確認ください。（センター臨床工学技士 あ）

災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して

建物被害

理論上最大クラス

過去最大クラス

全壊・焼失棟数（棟）	約222,000	約55,000
揺れ	約152,000	約18,000
液状化	約3,800	約3,700
津波	約39,000	約32,000
急傾斜地等	約2,300	約1,700
火災	約24,000	約100

揺れによる全壊が最も多い

津波による全壊が最も多い

News デジタル簡易無線を使用した情報伝達訓練を開始しました

令和8年1月より災害発生時の円滑な情報伝達手段の一つとして、当センターにてデジタル簡易無線を使用した訓練を開始しました。訓練では、様々な職種の方にご参加いただき、訓練を通して情報が正確に伝わるか確認を行いました。

今年度もこのような小規模訓練を開催していきますので、積極的にご参加ください。



講義



操作手順の確認

知っていましたか？

デジタル簡易無線とスマートフォンとの違い

	通信距離	通話形式
デジタル簡易無線	10-20km (高さ・遮蔽物など条件がよい場合) 100km	1人対多数 相互通信
スマートフォン	制限なし	1人対1人 同時通信

デジタル簡易無線は、一度に多くの人へ情報を共有できる便利な通信手段です。通話ボタンを押している間は他の人が話せなくなるため、混信を防ぎ、確実に情報を伝えることができます。

スマートフォンに比べ、送信出力が高いことや周波数帯が近いことから医用テレメータ等の医療機器に影響があるため、院内で使用する際は注意が必要です。



当院から津ICくらいまで交信したことがあります

デジタル簡易無線を使用した情報伝達訓練を実施します

- ◆日 時：令和8年5月14日（木） 15:00～15:30
- ◆場 所：外来棟4階 災害対策推進・教育センター
- ◆内 容：デジタル簡易無線とは何か・使用方法の説明
デジタル簡易無線を使用した情報伝達（実践）
- ◆対象者：職員ならどなたでも
- ◆予 約：不要